



2012.1

第3期 麻生区区民会議 ニュース vol.4

発行／麻生区区民会議

編集／企画部会

事務局／麻生区役所企画課

電話：965-5112

Fax：965-5200

E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp



フォーラムでの手振りを交えた吉田氏の講演

麻生区区民会議では、平成23年8月に第5回区民会議（全体会）を開催し、引き続き、各部会での調査・審議を継続しています。

また、9月に「循環型のまち・生ごみリサイクル」フォーラムを開催しました。3月3日（土）には、第2回区民会議フォーラムを開催し、これまでの取り組みを区民の皆さまに報告し、意見交換を行いますので、ぜひ御参加ください。（詳細は裏表紙をごらんください）

■□■□■ 各部会の取り組み状況 ■□■□■

【地域交流・文化部会】

◆ 高齢者・障がい者などが

暮らしやすい環境づくり ◆

「ささえあい」を進める担い手である区の社会福祉協議会やボランティア団体などにヒアリングを行った結果、様々な支援制度や取り組みが行われているものの、十分な活用がされていない現状が明らかになりました。

そこで課題解決策の一つである広報活動に関し、ささえあいを必要とする高齢者、障がい者に情報が届く広報方法や、各団体の取組をPRできる機会などを検討しています。

また、ボランティア団体や町内会・自治会などの地域活動の担い手づくりの工夫、活動に参加しやすい環境づくりや、住民間のささえあい活動を推進する取り組みについて審議しています。

さらに、高齢者の交通手段の確保に向けたコミュニティバスの検討や、コミュニティ・メンタルヘルス・ネットワーク、ご近所防災マップの整備などについても審議し、暮らしやすい環境づくりに向けて検討を重ねています。

◆ 区民が主体となって進める

芸術・文化のまちづくり ◆

6～9月に「しんゆり・芸術のまち」を進めている麻生区をフィールドとして活動している芸術文化事業の実施主体（組織）にヒアリング調査を行いました。

その結果、麻生区は芸術に関心がある人や、関連のサークルが多く、自主性を持ってボランティアに参加する人が多いという特徴があり、周辺で開催されるイベントとの連携や、教育機関と協働した取り組みも可能であるという利点が明らかになりました。



麻生音楽祭（7月にヒアリング実施）

一方で、参加者増加、周知徹底のための広報の手段・方法・タイミングの工夫が必要という点や、各イベントをつなぐための組織の設置、練習場所の確保など施設・設備関連の要望、行政の協力・支援の必要性などの課題も明らかになりました。今後、これらの課題を考察した上で、区民会議としての提言を行うこととします。

【環境・緑化部会】

★ 循環型のまち・生ごみリサイクル ★

5～7月に区民を対象に行った「麻生区生ごみアンケート」では、生ごみリサイクルをしている方の半数が「庭に埋めている」という方で、堆肥回収不要と答えた方が75%ありました。これは「堆肥が必要な方や使いたい方が生ごみリサイクルしている」とも考えられますが、「マンションでは堆肥化しても使いきれない」との理由で、リサイクルを行わないまたは辞めてしまう場合も考えられます。その一方で堆肥を必要としている畑や公共花壇は区内に多くあります。

そこで、作った生ごみ堆肥を使わない方から必要な方へ、身近な地域内での橋渡しで、資源循環できるような仕組みを作るため「堆肥あげます・もらいます」モデル事業を行っています。

《モデル事業》【乾燥生ごみなど集めます】

日時：12月～3月までの第4土曜日

(12/24・1/28・2/25・3/24)

午前9時～11時

場所：麻生区役所ロビー（ごみ相談コーナー横）

対象：台所から出た生ごみを電動生ごみ処理機にかけたもの。ただし、3/24(土)のみ、ダンボールコンポストなどで作った完熟堆肥も集めます。

悪臭がしないものを、袋に入れ、こぼれないよう密閉して持参してください。

集めたものは麻生区内で有効活用させていただきます。ご自宅で使い切れない方、ぜひご持参ください。

このモデル事業を通じて、区民の皆様から、生ごみや堆肥の使い道についてのご意見や現状も伺い、実施結果やこれまでの取組と併せて、区民会議としての提言にまとめていきます。

★ グリーンアップ・里山ボランティア ★

麻生区の緑の資源を保全するため、市有地の中で手入れの必要な場所について、区の調整・運営支援のもと、公募ボランティアの方々などと協働した緑地保全活動モデル事業を実施しました。

12月10日（土）、月読緑の保全地域（麻生区下麻生）に、市政だよりなどで応募された方と区民会議委員など計20名が集まりました。森林インストラクターから道具の使い方などの指導を受けた後、木々の間の草刈りや枝打ちなどの作業を行いました。実施結果を踏まえ、今後の取組方法などについて検討していきます。



月読緑の保全地域での作業

*区民会議へのご意見・ご提案は随時募集しています。区役所2階ロビーの「提案箱」やホームページをご利用ください。

*区民会議ニュースは、町会連合会のご協力により回覧されています。

*区民会議はどなたでも傍聴できます。今後の開催日程は、HPをご覧ください。お気軽に事務局にお問合せください。



■□■□■ 区民会議フォーラム開催報告 ■□■□■
「循環型のまち・生ごみリサイクル」フォーラム
～生ごみ先生・いのちの循環と食育を語る～

- 1 日時 平成23年9月25日(日)
午後1時30分～4時30分
- 2 場所 麻生区役所会議室
- 3 参加者 105人

取組課題の一つである「循環型のまち・生ごみリサイクル」を中心に、これまで区民会議で行われた調査・審議経過を区民の方々に報告して意見をいただくとともに、ごみ減量に向けた取組について、区民の方々が考え、行動するきっかけとすることを目的にフォーラムを開催しました。

●区民会議報告

区民会議から、5～7月に行った生ごみアンケートの中間結果報告や横浜市資源循環局への訪問報告を行いました。アンケート結果から、現在、生ごみをリサイクルしている方は23%ですが、堆肥化が簡単ならやってみいたいという方は51%にのぼることがわかりました。

●川崎市における生ごみの現状と取組について市環境局からの説明がありました。

●講演：「生ごみ先生・いのちの循環と食育を語る」～免疫力集中力アップ。食で変わった！究極の元気っ子たち～

NPO法人「大地といのちの会」理事長の吉田俊道氏による講演を行いました。『生ごみが土に生命(微生物)とミネラルを増やし、土の生命力が元気野菜へと繋がります。生ごみリサイクルにより、虫の来ないおいしい野菜を作ることができます。大地を元気にして、食べ物を元気にして、人間も元気にしよう』とユーモアたっぷりに、楽しくわかりやすいお話をいただきました。

●事例発表

- ・「すぎのこ保育園」食育と堆肥化の実践報告
- ・「福祉施設・はぐるま工房」生ごみ堆肥を使った野菜づくりの実践
- ・「新あさお生きごみ隊」川崎市生ごみリサイクル活動助成金を活用した取り組み
- ・「(株)小田急ビルサービス」小田急グループの液状飼料化の取り組み

参加者の感想から・・・

「区民会議報告」は、「よく理解できた」「理解できた」という方が79%を占めた一方、「第1期・第2期からの発展性がよく見えなかった」という御意見もいただきました。

「吉田氏の講演」については、「大変参考になった」「参考になった」という方が94%を占めました。

また、当日は、展示ブースの生ごみ相談会やJAセシサ川崎の取り組み紹介、区役所前広場での「JAセシサ川崎」と「福祉施設・はぐるま工房」の協力による地元産野菜等の直売会、区役所ロビーでの生ごみ堆肥・肥料で作った花や野菜の写真展(46点)も開催されました。



区役所ロビーでの写真展

次回区民会議 2月13日(月) 15時～ 区役所第1会議室

区民会議ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/73/73soumu/kuminkaigi/index.htm>